

目次

発刊のことば 玉川町誌編集委員長 渡部 修
玉川町長
よろこびのことば 玉川町議会議長 渡部 敏孝
町の姿
町名の由来

第一編 沿革誌

第一章 原始・古代社会 三
第一節 玉川町のあけぼの 三
第二項 原始文化 三
1 無土器時代 三
2 縄文時代 四
第二項 弥生文化 六
1 狩猟生活 七

2	漁撈生活	九
3	農耕生活	一〇
4	食生活	二
5	住居	三
6	装飾品	四
7	祭祀	五
8	埋葬	七
9	町内の弥生時代遺跡	一六
第三項 古墳文化		
第二節 飛鳥・奈良時代		
第一項	郡・県制度(越智郡十郷と鴨部郷)	三
第二項	税制と条里制	三
第三節 平安時代		
第一項	荘園(鴨部荘)	四
第二項	玉川の御厨	四
第三項	奈良原神社の経塚	五
第四項	藤原純友の乱と越智氏	五

第二章 中世社会

第一節 鎌倉時代		
第一項	守護・地頭の創設と河野氏	五
第二項	河野氏と承久の乱・弘安の役	六
第三項	新宗教の派生	六
1	浄土宗	六
2	一向真宗	六
3	臨濟宗	六
4	曹洞宗	六
5	法華宗	六
6	時宗	六
第四項	宝篋印塔	七
第五項	五輪塔	七
第二節 南北朝時代		
第一項	長慶天皇の御潜幸と伝説	七
1	南北朝の年表	七
2	長慶天皇の御宸翰・御願文	七

3	長慶天皇伊予国御潜幸のこと	一七
4	伝 説	一八

第二項	玉川は南朝派に	二二
-----	---------	----

第三節 室町・戦国・安土桃山時代

第一項	応仁の乱と伊予	二四
1	伊予の東西分裂	二四
2	河野氏の作動	二五
3	終末と伊予の動静	二五
第二項	四国征伐と河野氏の滅亡	二六
第三項	河野氏と玉川	二六
第四項	玉川の古城跡	二九

第三章 近世社会

第一節 江戸時代

第一項	伊予八藩の成立	一〇〇
第二項	松山藩と今治藩	一〇三
第三項	今治藩の政治	一〇七

1	藩政の機構	一〇七
2	地坪(検地)	一一四
3	税 制	一二五
4	治水と宗門堀	一三三
5	御法度と賞揚	一三五
第四項	キリシタンと宗門改め	一四〇
1	伊予のキリスト教	一四〇
2	切支丹碑	一四一
3	玉川町内の切支丹碑	一四三
4	他町村の切支丹碑	一四四
5	切支丹宗の蔽禁	一四五
第五項	海防と今治城移動計画	一四五
第六項	享保の大飢饉	一五五
第七項	光林寺と今治藩	一五九
1	光 林 寺	一五九
2	寺社の格付	一六〇
3	今治藩と光林寺に関する主な年譜	一六六

第二編 現勢誌

4	雨乞い祈願	一三
5	松源院の建立地鎮祭	一三
6	寺 宝	一六
7	寺 紋	一六
第八項	法界寺村庄屋浮穴家に身を寄せた菅長好	一六

第一章 地 誌

第一節	位置と地形	一五
第一項	位置・面積・区域	一五
第二項	地形・地勢	一五
第二節	地 質	一七
第三節	水 系	一七
第四節	気 象	一八
第一項	気 候	一八

第二項 気象と災害要因

第五節	人 口	一四
-----	-----	----

第六節	動物と植物	一九
-----	-------	----

第一項	ほ 乳 類	二〇
第二項	鳥 類	二〇
第三項	昆 虫 類	二〇
第四項	魚 貝 類	二〇
第五項	植 物	二一

第七節	玉川ダム	三六
-----	------	----

第一項	ダムの必要性	三六
第二項	ダム建設の経過	三六
第三項	水没地域	三七
第四項	総事業費	三九
第五項	ダムの効用	四〇

第二章	行政と財政	四三
-----	-------	----

第一節	町の政治	四三
-----	------	----

第一項	戸長時代	三三
第二項	新しい村の成立	三三
1	戸籍制度	三四
2	住民基本台帳制度	三四
3	印鑑登録制度	三四
4	鴨部村・鈍川村・龍岡村・九和村の成立	三五
5	玉川村の成立	三五
6	町議会の構成とその沿革	三五
7	選挙管理委員会	三五
第三項	町政の施行と町の政治	三六
1	阿部久一町政	三六
2	越智岩太郎町政	三六
3	越智雪春町政	三六
4	渡部修町政	三六
第二節	町の財政	三六
第一項	税制のうつりかわり	三六
第二項	財政の推移と現状	三六

第三章 産 業

第一節 農 業

第一項	農 家	三〇
1	農家戸数	三〇
2	自小作別農家数	三〇
3	農家の人口	三〇
第二項	農地及び用水	三一
1	田・畑	三一
2	樹園地	三一
3	用 水	三一
4	土地改良事業	三一
第三項	農 機 具	三一
第四項	肥 料	三一
第五項	農業薬剤	三一
1	害虫の発生による被害の概要	三一
2	防除方法の概要	三一
3	主な農業薬剤	三一

第六項	主要農作物	三〇〇
1	米、麦及び雑穀	三〇〇
2	工芸作物	三〇四
3	野菜	三〇五
4	果樹	三〇五
第七項	畜産	三〇〇
1	馬	三〇〇
2	牛	三〇一
3	豚	三〇二
4	採卵鶏	三〇二
第八項	養蚕	三〇四
第九項	その他	三〇五
1	戦前の農業指導機関	三〇五
2	農業純生産額	三〇六
第十項	農業委員会	三〇八
第二節	林業	三〇七
第一項	山林の概況	三〇七

第二項	林業の歴史	三〇五
第三項	林業関係団体	三〇六
第四項	森林・林業の任務	三〇六
第五項	林業の将来	三〇四
第六項	しいたけと筍	三〇八
1	しいたけ	三〇八
2	筍	三〇二
第三節	商業	三〇四
第一項	商業のうつりかわり	三〇四
第二項	商業と観光	三〇七
第三項	商業と交通	三〇九
1	へんろ道	三〇九
2	今治商店街との関係	四〇〇
3	交通手段	四〇〇
第四項	農協の購買	四〇三
第四節	金融	四〇五
第一項	頼母子講	四〇五

第二項	勤儉貯蓄組合	四〇九
第三項	児童貯蓄の奨励	四〇七
第五節 工業		
第一項	産業別就業人口	四〇九
第二項	事業所の現状	四〇九
第三項	工業のうつりかわり	四一一
1	製織業	四一四
2	綿ネル業	四一四
3	タオル、縫製、染色業	四一八
4	水車業	四一七
5	鍛冶業	四一八
6	製瓦業	四二〇
7	製材業	四二一
第四項 水力発電所		
四二四		四二四
第六節 農業協同組合		
第一項	玉川町農業協同組合の前身	四二六
1	協同組合運動の源流	四二八

2	産業組合	四三三
3	農業会	四三四
第二項 農業協同組合		
1	農業協同組合の誕生	四三六
2	農業協同組合の事業	四三七
3	四地区農協の合併	四三九
4	玉川町農協の足跡	四三九
第三項 将来の展望		
四四三		四四三
第七節 観光		
第一項	奥道後玉川県立自然公園	四四五
第二項 鈍川温泉		
1	旧記	四四九
2	調査報告書	四四九
3	鈍川温泉組合	四五〇
4	鈍川温泉観光株式会社	四五二

第一節 教育史要

第一項 藩政時代までの教育

第二項 明治時代の教育

第三項 大正から昭和初期の教育

第四項 戦時下の教育

第五項 戦後の教育

第二節 教育行政

第一項 教育委員会

第二項 文化財専門委員会

第三項 学校給食

第三節 学校教育

第一項 学校の歴史

1 初等教育のはじまり

2 明治の小学校

3 大正・昭和のはじめの小学校

4 大戦中の小学校

5 戦後から現在までの小・中学校

四九五

四九五

四九八

五〇一

五〇五

五〇八

五三二

五四四

五〇〇

五三三

五三三

五三五

五三五

五三三

五三三

五六一

第四節 社会教育

第一項 社会教育関係の機構と施設

1 社会教育のうつりかわり

2 社会教育の機構

3 社会教育委員・公民館運営審議会

4 社会教育関係の施設

第二項 社会教育活動

1 青少年教育

2 婦人教育

3 高齢者教育

4 家庭教育

5 同和教育

6 公民館活動

7 社会体育

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

三三三

第五章 交通と通信

第一節 交通

第一項 道路の発達

1 藩政時代の道

2 明治以降の道

第二項 交通機関のうつりかわり

1 明治時代の交通

2 大正時代の交通

3 昭和時代の交通

第二節 通信

第一項 郵便のうつりかわり

第二項 玉川郵便局のうつりかわり

第三項 龍岡無線中継所

第四項 有線放送電話

第六章 福祉と保健衛生

第一節 福祉

第一項 福祉・公的扶助制度の創設と沿革

1 近代以前の公的扶助制度

2 明治期から近年までの推移

第二項 民生委員

1 民生委員制度の沿革

2 民生委員の任務と活動

第三項 社会福祉

1 生活保護

2 老人福祉

3 国民年金

4 同和対策

5 身体障害者(児)福祉

6 母子福祉

7 戦争犠牲者の援護

8 募金活動

9	団体等の活動	七六九
10	住宅問題	七七一
第四項 児童福祉		
1	児童福祉の沿革	七六九
2	児童福祉の概要	七七一
3	児童福祉施設	七七〇
第二節 保健衛生		
第一項 保健衛生の沿革		
1	藩政時代の保健衛生	七六八
2	町村制実施以降の保健衛生	七六八
3	近年の保健衛生の現況	七七〇
第二項 保険制度		
1	国民健康保険制度	七七三
2	老人保険制度	七六九
第三項 健康づくり対策		
1	成人病対策	七七四
2	予防接種	七七四

第四項 母子保健		
1	母子保健の推移と現況	七七五
第五項 保健施設		
1	保健センターの建設と現況	七七七
第六項 環境衛生		
1	廃棄物処理	七六八
2	し尿処理	七六二
3	野犬と畜犬対策	七六六
4	墓地	七六七
第七項 医 事		
1	藩政後の医事の推移	七六一
2	玉川町の医事の現況	七六五
第八項 団体活動		
1	保健衛生指導員会	七六七
2	愛育班	七六七
3	栄養推進会	七六七
第九項 水 道		
		七六八

1	生活用水のうつつりかわり	一六八
2	水道	一六九

第七章 警察・消防・兵事

第一節	警察の沿革と現状	一七〇
-----	----------	-----

第二節	消防と防災	一七〇
-----	-------	-----

第一項	消防の沿革	一七〇
-----	-------	-----

第二項	災害	一七三
-----	----	-----

第三項	防災対策	一七五
-----	------	-----

1	情報通信対策	一七六
---	--------	-----

2	治水対策	一七八
---	------	-----

3	がけくずれ対策	一八二
---	---------	-----

4	砂防対策	一八三
---	------	-----

5	治山対策	一八四
---	------	-----

6	地震対策	一八六
---	------	-----

第三節 兵 事

第一項	徴兵制度	一八五
-----	------	-----

第三編 文化誌

第一章 宗 教

第一節	神 道	一八五
-----	-----	-----

第一項	神 祇	一八五
-----	-----	-----

第二項	祭 祀	一八九
-----	-----	-----

第三項	氏 神	一七一
-----	-----	-----

第四項	神 社	一七三
-----	-----	-----

第二項	自衛官募集制度	一八五
-----	---------	-----

第三項	主な対外戦争	一八五
-----	--------	-----

1	日清戦争	一八五
---	------	-----

2	日露戦争	一八五
---	------	-----

3	第一次世界大戦	一八五
---	---------	-----

4	シベリア出兵	一八五
---	--------	-----

5	満州事変から日中戦争	一八七
---	------------	-----

6	太平洋戦争	一八九
---	-------	-----

第五項 玉川町内の神社……………八五五

第二節 仏教……………八六九

第一項 仏教のうつりかわり……………八六九

1 仏教の伝来……………八六九

2 我が国の仏教のはじまり……………八七一

3 玉川町の仏教史……………八九二

4 藩政時代の様子……………八九五

第二項 法華山釈迦堂……………八九六

1 お釈迦さん……………八九六

2 釈迦堂の由来……………八九七

3 釈迦堂の盛衰……………八九八

第三項 玉川町内の寺・堂・庵……………八九九

1 曹洞宗の寺院……………八九九

2 真言宗の寺院……………九〇〇

3 玉川の名僧……………九二七

4 町内の寺・坊・堂・庵現存一覧表……………九二九

第三節 その他の宗教……………九三三

第二章 文化財……………九三四

第一節 文化財一覧……………九三四

第二節 国指定文化財……………九三三

第三節 県指定文化財……………九三三

第四節 町指定文化財……………九三八

第一項 建造物……………九四八

第二項 絵画……………九五二

第三項 彫刻……………九五七

第四項 工芸品……………九五七

第五項 典籍・古文書……………九五九

第六項 石造美術……………九六五

第七項 考古資料……………九六七

第八項 民俗資料……………九六七

第九項 史跡……………九六八

第十項 名勝……………九七一

第十一项 天然記念物……………九七三

第三章 玉川町の生活

九七

第四章 玉川町の文化

第一節 文化とは何か

九八

第二節 文化と町民意識の地域性

1 地理的自然環境

九八

2 自然環境の影響(地域性)

九八

第三節 文化遺産からみた玉川町の文化

1 有形文化財

九八

2 無形文化財

九八

第四節 文化の動きとその条件

九八

1 道路網の整備と交通機関の発達

九九

2 通信機関の整備発達

九九

3 文化史上からみた無線放送の功罪

九九

4 教育制度の確立と教育義務の自覚

九九

5 西洋近代思想の流入と意識の変化

九九

一〇〇

第五章 玉川町の民俗

一〇一

第一節 民俗とは何か

一〇一

第二節 年中行事

一〇一

1 五節 供

一〇一

2 年中行事

一〇一

第三節 子供歳時記

一〇一

第四節 一生通過儀礼の習俗

一〇一

第五節 講とお席

一〇一

第六節 お当とおこもり

一〇一

第七節 特殊行事

一〇一

1 町内外の祭礼と縁日、その他

一〇一

2	今治のえびすぎれ	1075
第八節 寺社参り		
1	式内十社参り	1075
2	金毘羅参り	1075
3	お伊勢参り	1075
4	石鎚参り	1080
5	三島参り	1081
6	一か所参り	1081
7	四国霊場巡り	1084
8	島四国巡り	1084
9	西国札所巡り	1087
10	府中八十八か所巡り	1087
11	府中十三石仏札所巡り	1087
12	町内堂寺巡り	1087

第九節 民話・伝説		
1	玉川の民話	1087
2	民話伝説の継承	1090

第十節 玉川地方の方言		
1	地方語と標準語と普通語	1091
2	方言の将来	1091
第十一節 民俗知識		
		1094
第十二節 俚謡		
		1090

第四編 人物伝

第一章 郷土人物小伝		
		1101
第二章 戦没者名簿		
		1130

第五編 年表		
		1130

付録

越智郡地誌の内玉川町関係の部(明治十三年記)		
		1135
あとがき		
		1135